



東京都立水元小合学園

肢体不自由教育部門

小学部4・5年

ハンドアーチェリーに

挑戦!



小学部4・5年生は体育の授業で「ハンドアーチェリー」をしました。

ハンドアーチェリーは、ダーツのように的にピンを当てて得点を競うスポーツです。手でピンを投げても良いですし、「ハサス」と呼ばれるピンを飛ばす道具を使って投げることもできます。的に当たると音がするので、当たったか外れたかがわかりやすいです。最初はやり方がわからず、青いスイッチ部分を上へ動かしてしまったり、違う場所を触ってしまっていた人も練習を重ねると一人でスイッチを押してピンを飛ばせるようになりました。

試合では、一人五回ずつピンを飛ばして合計得点を競い、オリンピック・パラリンピックのように上位3名には金・銀・銅のメダルをかけて、表彰しました！



ひびせんしん みすちとこあい